

佐倉市議会だより



2015年11月1日
 (平成27年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97 番地 TEL484-6279 FAX486-2508
 佐倉市ホームページ http://www.city.sakura.lg.jp メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

8月定例会

平成26年度各会計

歳入歳出決算を認定

平成27年度一般会計・各特別会計

補正予算を原案可決

佐倉市議会は、8月24日から9月24日までの32日間にわたり、平成27年8月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成26年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」や「平成27年度佐倉市一般会計補正予算」など議案23件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決認定または同意しました。

請願については、「安全保障関連法案」を参議院で徹底審議し、廃案にすることを求める意見書提出を求める請願」など2件が、議員提出議案については、「佐倉市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定について」など8件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に11人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。



▲11月末のオープンに向けて、工事が進む「志津市民プラザ」

決算審査特別委員会を設置

平成26年度の一般会計、各特別会計、公営企業会計の決算審査を行うため、決算審査特別委員会を設置しました。選出した委員は次のとおりです。

- ◎川名部実 ○岡村芳樹
- 徳永由美子 敷根文裕
- 望月庄子 平野裕子
- 久野妙子 爲田 浩
- 萩原陽子 五十嵐智美
- 村田穰史

(◎：委員長、○：副委員長)

平成26年度決算を審査

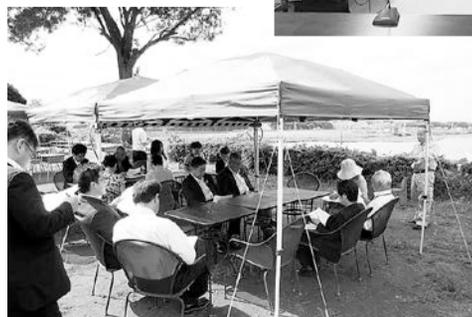
決算審査特別委員会は、4日間にわたり担当部長などからの説明を受け、慎重に審査を行いました。

定例会最終日の本会議場にて、川名部実委員長から審査結果の報告があり、次の4点について要望しました。

- 1、事業提案をする際には、構想から結論までの経緯、内容を十分議会で説明すべきである。しかし、長嶋茂雄記念岩名球場、志津自然園などについては、説明が不十分であったと思わざるをえない。二元代表制のもと、市長は議会への説明を十分尽くすべきであり、事業を議会に提案する際は、その全体像を明確に示したうえで議会で提案するようにしていただきたい。
- 2、プレミアム商品券発行事業に関しては、経済波及効果の数量的な測定がなされていない。今後、同様な経済対策を実施する際は、経済波及効果の測定に努めていただきたい。
- 3、地域まちづくり協議会については、高齢化の進展に伴う自治会・町内会の衰退は深刻な問題であることを認識し、屋上屋を重ねることのないよう、補助金も含め、そのあり方について見直していただきたい。
- 4、主要施策の成果の説明書に、過年度から定型化しているものが多く見受けられる。成果の評価については、過年度との比較を含め、より具体的なものになるよう努めていただきたい。



決算審査特別委員会
 審査模様
 (全員協議会室)



決算審査特別委員会
 現地視察
 (印旛沼サンセットヒルズ)

平成26年度会計別決算の状況 ※会計名の丸数字は議案番号

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引	
① 一般会計	481億2,304万4,177円	454億6,611万9,752円	26億5,692万4,425円	
特別会計	② 国民健康保険	193億9,740万6,028円	190億1,250万9,410円	3億8,489万6,618円
	③ 公共用地取得事業	457万6,353円	457万6,353円	0円
	④ 農業集落排水事業	2,466万9,605円	2,466万9,605円	0円
	⑤ 介護保険	106億5,668万3,439円	101億9,513万5,858円	4億6,154万7,581円
	⑥ 災害共済事業	490万9,410円	98万8,136円	392万1,274円
	⑦ 後期高齢者医療	16億3,328万5,490円	16億3,241万5,850円	86万9,640円
	会計名	事業収益決算額	事業費用決算額	純利益
⑧ 水道事業	37億5,476万2,622円	33億3,346万5,178円	4億2,129万7,444円	
⑨ 下水道事業	31億2,178万9,161円	29億8,494万1,754円	1億3,684万7,407円	

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に係りなく、市政全般にわたり質問することをいいます。

8月定例会では、8月31日から9月3日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(11月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会のホームページより会議録検索システム(11月下旬配信予定)をご覧ください。

代表質問

さくら会

櫻井道明

今後の財政見通しについて

平成26年度決算の財政指標は、他の類似団体との比較では、それほど悪い状況ではないが、財政の硬直化は今後の課題である。26年度の財政状況を踏まえ、今後の財政見直しを伺う。

26年度の財政状況は、実質単年度収支が黒字であることから、財政の健全性は確保できていると考える。今後は、人口減少対策やインフラ施設の更新など、緊急に実施すべき事業が多数あり、国庫補助金や地方債の活用、財政調整基金の取り崩しを視野に入れ、バランスのとれた財政運営を行う。

順天堂大学の誘致について

選ばれるまち・ふるさと佐倉を創生していくため、ぜひとも佐倉市側が主導して順天堂大学の誘致という一大事業をなし遂げていただきたい。本当に順天堂大学を佐倉市に誘致したいという考えがあるか伺う。本市とゆかりのある順天堂

一般質問 通告要旨

代表質問

※は持ち時間1時間、それ以外は30分。()内は会派名。【 】内は関連質問をおこなった同じ会派の議員名。

櫻井道明(さくら会) ※

- 1 市長の政治姿勢
2 魅力あるまち「ふるさと佐倉づくり」
3 (仮称)佐倉西部自然公園の利活用
4 農業の活性化
5 地域の協力によるまちづくりのための施策
6 安全・安心な市民生活を確保するための当面の課題

橋岡協美(のぞみ) [斎藤明美] ※

- 1 市の財政運営について
2 健康増進についての市長の政治姿勢について
3 産業振興について
4 市民の文化的な生活についての市長の政治姿勢について

岡村芳樹(公明党)

- 1 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた佐倉市の取り組みについて
2 佐倉市住生活基本計画を推進する取り組みについて
3 公共施設の整備と指定管理者について

伊藤壽子(市民ネットワーク)

- 1 共通番号(マイナンバー) 制度について
2 官製ワーキングプア問題について
3 犬猫殺処分ゼロをめざして

萩原陽子(日本共産党)

- 1 子どもの育成環境整備を最優先に
2 地方創生と農業施策
3 自治会の負担を軽減する施策

個人質問

久野妙子(公明党)

- 1 選ばれるまちづくりについて
2 選挙について

高木大輔

- 1 シティプロモーションについて
2 大学連携について
3 学校施設について

徳永由美子(のぞみ)

- 1 オリンピックに向けて
2 スポーツの推進
3 子どもの体力低下と食生活について
4 子どもの貧困問題について
5 芸術鑑賞会の実施
6 志津公民館の中高生のボランティア活動について
7 NPOなど市民活動への支援について

藤崎良次

- 1 市長の政治姿勢
2 選挙について

森野正(公明党)

- 1 財政問題について
2 都市問題について
3 健康福祉について

小須田稔(公明党)

- 1 選ばれるまちづくりの取り組みについて
2 産業振興ビジョンについて
3 健康・福祉について

木崎俊行(日本共産党)

- 1 「戦争法案」に対する市長の見解をお伺いします
2 子どもたちを貧困から守ろう、就学援助制度の充実拡充を求めます

敷根文裕(さくら会)

- 1 選ばれるまちづくりについて
2 地域の活性化について
3 インフラ関係の整備について
4 教育環境について

冨塚忠雄

- 1 平和で戦争のない70年間の歴史を市長はどのように見ているのか
2 高齢者所有の建物等の扱いについて
3 自治会管理の街灯のLED化について
4 交通不便地区の対策について

大野博美(市民ネットワーク)

- 1 市長がめざすまちづくりとは何か
2 水道ビジョンについて

五十嵐智美(市民ネットワーク)

- 1 子どもが健やかに育つ環境整備について
2 高齢者福祉について

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

大学の当市への進出の意向は、大いに歓迎する。順天堂大学からは進出の意向とともに施設整備の財政支援等も求められており、正式かつ必要な手続きを踏み、議会及び市民のご理解をいただきながら事務を進めていく。

活用について

(仮称)佐倉西部自然公園の活用について
(仮称)佐倉西部自然公園個別計画イメージ図に沿った公園整備には、地権者のご理解、ご協力が不可欠である。今後、民有地を市が取得すべきと考えるが、考えを伺う。

現時点では借地による公園整備を基本としているが、必要に応じて、施設整備を計画している区域に関しては、地権者の意向を確認し、用地の買い取りや土地の交換についても検討する。

のぞみ

橋岡協美
市長の財政運営
決算をどのように予算に生かす財政運営をしていくか伺う。
実質公債費比率や将来世代の負担比率などの分析結果を踏まえて次の予算編成に反映する。

佐倉市のがん対策

がん予防12か条にある禁煙と受動喫煙の害で憂慮される子どもと妊産婦への啓発を伺う。
たばこがもたらす胎児への影響や喫煙による弊害について正しい知識の普及を図り、禁煙の啓発、支援を行う。
長崎市立図書館では、がん専門のコーナーを設置し、図書館でがんについての講演会を年5回開催し、講演後は医療相談を実施している。佐倉市のがん罹患率への支援を伺う。

プレミアム商品券の販売方法

高齢者や障害者の方が購入しづらい先着順による販売方法の課題と往復はがきによる販売方法をとらなかつた理由を伺う。
事業の主目的である新規の消費誘発効果が期待でき、抽選方式に比べ郵送、偽造防止等にかかる経費が安い先着順整列方式を採用し、公平性確保、販売時の整理方法等が課題である。

蔵書数や広さだけでなく、図書館整備で行政課題の何を解

決し成果を目指すかを伺う。

新町のまちづくりにも貢献できるように総合的に検討する。(斎藤議員 関連質問)
自習室について、佐倉市全体での方向性について伺う。
社会教育施設にある自習室については、今後、利用状況を把握しながら有効活用を図っていく。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた市の取り組みについて

世界陸上アメリカカチームのキャンプ受け入れの成果を伺う。
岩名運動公園を利用したアメリカ選手は延べ110人、加えてニュージールランドやカタールの選手も訪れた。国際大会のキャンプ誘致を通し、スポーツへの参加意識醸成・スポーツを通じた国際交流・スポーツによる地域の魅力向上につながった。
オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致の意思を伺う。
トップアスリートをはじめ、

世界から佐倉を訪れ活発な交流が大いに期待でき、知名度向上・地域振興・国際化推進になる。より積極的に誘致を進める。

競技種目は市の将来や市民に有益か検討し計画的に進める必要がある。想定と準備を伺う。
陸上競技のほか、国体実績のあるレスリング、カヌー、サッカー、追加種目候補の野球・ソフトボールも検討すべきと認識している。

オリンピックを視野にした岩名運動公園整備について伺う。

施設整備の方向性や時期については、今後、計画を策定していく中で検討する。

市民ネットワーク

伊藤壽子
共通番号(マイナンバー)制度
共通番号は原則生涯不変であり、成りすましや個人情報データのマッチングによる犯罪被害が懸念される。国が勤務先や学校等でカード申請手続きの取りまとめを示しているが、カード申請は任意である。個人の権利が侵害されない対応を求め、国通知に基づき対応する。

官製ワーキングプア問題

人件費抑制のため正規職員を減らした結果、非正規職員は増加し重要な役割を担っている。しかし、フルタイムで勤めていても、1年ごとの契約となり時給も上がらず、有給も持ち越せない。非正規職員数と任用更新の最長期間について伺う。
臨時職員79人、うちフルタイム77人。非常勤職員536人。任用期間の通算データはないが、5年10年を超えている人はいる。
総務省通知「臨時・非常勤職員及び任期付職員の任用等について」への見解と対応を伺う。
臨時職員等の任用、勤務形態について検討する。また任期付職員の活用を検討していく。
有給休暇取得は個人の権利だが、管理者の都合により消化させられた事例があると聞く。
あるとすれば、今後無いように指導していく。

自治会の負担を軽減する施策

電気料金の高騰で自治会の街灯にかかる負担が増えている。市への移管を検討しているか。
市管理の街灯のLED化を進める中で、自治会管理の街灯の移管を念頭に調査、検討する。
市の街灯をLEDに替えて得られる効果について伺う。
1年間の電気代と維持費は約4300万円、二酸化炭素の排出量は3分の2に当たる約540トンの削減を想定している。
自治会管理街灯は市管理の4・4倍で1万5600本、効果も大きく早急な実現を求める。
本年度下期の街灯補助金交付申請時に移管の意向などアンケートを実施し検討を進める。

個人質問

公明党 久野妙子

選ばれるまち教育環境の充実

地域や民間の力をさらに活用して独自色を出し、他市のよ...

電子黒板が各学校1台配置され...

現時点で増設の予定はない。

教室のエアコン整備は、より...

施設が老朽化対策を進めて...

投票率向上の取り組みについて

来年夏の参議院選挙から18歳以上の人が投票できる見通し...

市内の高校と協力して推進する...

高木大輔

シティブロモーションについて

先進市では民間企業の営業の考え方やSWOT分析などマ...

転入者が多い東京の東部地区、横濱、川崎地区に対して近...

給食室の整備について

市内34校の小・中学校の学校給食室の整備について、今後...

10年間の改修費を問う。

改修費として推計で約19億円を見込んでいる。

少子化、給食施設の老朽化対策として、現在、実施されて...

市職員の給与は国基準より年額2・2億円高い。職員通勤...

職員の適正化は進んでいるか。

職員の組合と協議中。通勤手当支給額は国基準より74%高...

職員の組合との合意が無いと決定できないのか。

職員の組合と議論を深めたい。

市は補助金を出すか。

事業者は先に、未整備6駅の対策をしたいと言っている。

補助金の検討はしていきたい。

JR佐倉駅周辺の施設整備

今後の対応は、立地適正化計画等の検討とあわせ研究していきたい。

行政全体で自立支援相談窓口につなぐ連携強化が必要では...

社会が複雑化する中、必要に応じて複数の所属が連携して...

きめ細かい対応に努めている。

子どもの文化振興について

国の文化芸術の振興に関する基本方針に伴い、小中学校における芸術鑑賞、複合施設における演劇鑑賞事業について伺う。

幅広く芸術鑑賞を進めていくことは子ども達の心を豊かにするもの。国の動向を把握しながら関連団体と連携していく。

公民館の施設予約を3カ月前からとし、市民の利便性を高めていただきたいが。

現時点では予約時期の変更予定はないが、利用団体の意見と活動状況を把握していきたい。

藤崎良次

順天堂大学進出について

私達はアンケート調査を行ったが、反対が半分であり、その支出について抵抗のある人が多い。今後の取り組みは、今後...

提供も含め真摯に取り組みたい。

「市長に独断で決断しろ」との言い方では、市民に理解が得られないことも伝えてほしい。

市職員の給与は国基準より年額2・2億円高い。職員通勤手当の適正化は進んでいるか。

職員の組合と協議中。通勤手当支給額は国基準より74%高く、金額は年間4千万円高いと試算。職員の組合との合意が無いと決定できないのか。

職員の組合と議論を深めたい。市は補助金を出すか。

事業者は先に、未整備6駅の対策をしたいと言っている。補助金の検討はしていきたい。

JR佐倉駅周辺の施設整備

今後の対応は、立地適正化計画等の検討とあわせ研究していきたい。

今後、これを推進していく。

観光の振興について

日本を訪れる外国人観光客数が急増している。佐倉には4月のチューリップ祭りに多くの外国人観光客が訪れたようだが状況について伺う。

今年の特徴は、中国、台湾、タイなどアジアからのお客様が例年になく多かった。メディア取材も台湾、タイ、マレーシアの3国からあった。また、口コミによるものではタイなどで多かった。今後もいろんな手法で外国人観光客の誘致に努めていきたい。

地元商店街に欲しいお店として鮮魚店、青果店がある。空き店舗空き家活用事業でこうしたお店に入ってもらえるような戦略を立てるべきではないか。

空き店舗等出店促進補助金は8月から始めた事業で、現在は鮮魚店、青果店などの業種による特定の支援は設けていない。今後、事業目的を達成するために効果的な手法として、例えば商店街に求められる特定の業種を優先的に支援することなどを検討していきたい。

日本共産党 木崎俊行

戦争法案安保法案に対する政府の答弁は「よくよくボロボロ。前議会に引き続き込めよう訴える。力をあわせる時が来た」

元法務副大臣実川幸夫さん、野田市長根本崇さんらの「戦争法案」反対の発言「9条の「根幹」交戦権の否認は変えてはならない」への市長見解を伺う。

一自治体の長として可否を述べるような立場にはない。

平和のため頑張っている市民を励ましてほしい、せめて強行採決反対では一致できないか。

多くの憲法学者や専門家が「違憲」との主張をしている。強行採決が好ましくないのは当然である。

反対で一致した、うれしい。根本市長の言う「公務員の憲法順守義務」についてはどうか。

市政運営では当然憲法を順守する。平和施策をさらに充実。ならば、戦争法案は憲法違反だと表明できないのか。

最後にもう一度心を込め訴える。「力をあわせる時が来た」戦争法案廃案へ共に頑張りましょう。他に就学援助制度の充実、クラブ活動費の拡充を求めた。

自治会管理の街灯のLED化は、リースも含めて検討する。

自治会管理の街灯の老朽化が進んでいる。市管理の防犯灯のLED化だけでなく、松戸市を参考に各自自治会管理の街灯もあわせて一括でリース契約してLED化できないか問う。

自治会管理の街灯のLED化は、リースも含めて検討する。

大型ショッピングモール建設計画も出ているユーカーが丘から八千代へ抜ける296号バイパスの完成時期について問う。

県では、平成33年頃の開通を予定している。

千葉県の小中学校へのエアコン設置率は平均が約25%ということだが、佐倉市のエアコン導入率はどのくらいか問う。

普通教室のエアコン導入率は小中合わせて5・9%である。近隣の成田、酒々井は補助金の差はあるが、エアコン導入率が100%になっている。導入によるコストの増大は考えられるが、教育環境の改善と他市との差別化も考え、前向きに取り組んでいただきたい。

富塚忠雄

自治会管理街灯のLED化について

佐倉市管理街灯のLED化を2カ年で完了する方向性が決まったが、自治会管理街灯はどうするのか。市管理街灯のLED化を進める中で、自治会管理街灯の市への移管するための設置基準をはじめとする調査や検討、アンケートを実施したい。自治会の管理街灯は1万5600灯あるので、市への移管が円滑に進むことが大切で、速やかに移管を終了したい。LED化は初期投資が必要だが、電気料や維持管理費で経費削減が図れる。

取り組み状況について。平成27年度、28年度の2カ年で地域公共交通網形成計画の策定を進めている。当面市内全域で意見を聞きたい。

志津北側の地区は、志津駅とユーカーが丘駅を結ぶ循環バスを運行すべきだ。

議員からの提案も踏まえつつ、地域の意見も伺う中で、志津北部地域の交通対策を検討したい。

市民ネットワーク 大野博美

市民車の使用は適正か

市長は公用車で年間19回も夜間東京へ出向いているが、どのような行政用務なのか。

行事、式典、レセプション等への出席や、芸術家との面会等で友好信頼関係を築いている。

昨年12月25日夜、東京内幸町に行き、帰宅が深夜1時半になっているが、どんな用務か。

音楽ホールに出演した歌手の公演に招かれ、教育長と共に出席し、その後歌手と懇談した。

その歌手からは出席要請の文書が出ているのか。

口頭で出席要請があった。

市原市長が公用車を公務以外に使っているのではないかと住民監査請求を受け、1件のみ私的利用とされたが、出席要請が無かったのが根拠とされた。

市長も会食を伴う夜の用件に公用車を使う場合、出席要請の文書をもらうべきではないか。

交渉や相談等要請文が来ないこともあるが、今後はなるべくもらうようにしていきたい。

FAX1枚でもらうべき。

今監査請求されたらアウトだ。詳細な業務日誌もつけるべき。

市民ネットワーク五十嵐智美

指定管理となつて1年経過。指導員から打ち合わせ時間が減らされ、職員の連携や引き継ぎなどができないとの意見。これは事業者の経費削減ではないか。

打ち合わせ等限られた時間内で効率的に行っている。

保護者アンケートでは指導員が突然やめると信頼関係がゼロに戻ってしまうとの声が出ています。指導員と子どもの信頼関係は運営の基本、どう考えるか。

児童や保護者が安心して利用できる環境づくりに努めるよう事業者を指導している。

学童保育の整備拡充は重要。しかし増える学童保育所を従来の指定管理業者になし崩し的に任せるべきではない。公開の委員会での検討を求めが見解は。

健康こども部としては資産管理経営室と協議し検討する。

在宅医療の推進について

市内の在宅医療情報がかかりづらく周知が必要。いかがか。関係者との協議で充実する。在宅医療連携拠点事業を活用し、支援体制をつくるべき。方法論のひとつとして検討。

※シティブロモーション

地域の魅力を創造し、それを地域の内外へと広めることで、その地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動のこと。観光客増加、定住人口の獲得、企業誘致のほか、住民に地元への誇りや愛着を高めることなどを目的とした活動であり、このほかに地域再生、観光振興、住民協働などさまざまな概念が含まれることもある。

用語解説

3

平成27年8月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄
 可決 否決 認定
 同意 不採択
 賛成 反対 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党				のぞみ				市民ネットワーク			日本共産党		会派に属さない議員					
			4	8	10	17	18	22	23	24	26	27	28	9	16	21	25	1	2	6	11	13	14	15	3	12	5	7	19	20	
			議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員			
市長提出議案																															
1	平成26年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
2	平成26年度佐倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	
3	平成26年度佐倉市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	平成26年度佐倉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	平成26年度佐倉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	
6	平成26年度佐倉市災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	平成26年度佐倉市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	
8	平成26年度佐倉市水道事業会計決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
9	平成26年度佐倉市下水道事業会計決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	平成27年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
11	平成27年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	佐倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
13	佐倉市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
14	佐倉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
15	職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	佐倉市立児童センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
18	佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	
19	佐倉市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	財産の取得について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	監査委員の選任について	同	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	平成27年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	財産の取得について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
請願																															
4	「安全保障関連法案」を参議院で徹底審議し、廃案にすることを求める意見書提出を求める請願	不	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
5	緊急に介護報酬の再改定を求める意見書提出を求める請願	不	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
議員提出議案 ※数字は発議案番号																															
1	佐倉市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	改正労働者派遣法の実施中止を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
3	環太平洋連携協定（TPP）交渉撤退を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
4	安全保障関連法に反対する意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
5	原子力発電所の再稼働を行わないことを求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
6	自衛隊の海外派兵を前提とした防衛予算拡大を見直すよう求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
7	千葉県立中学校の「育鵬社版」教科書採択の白紙撤回、ならびに採択手続きの見直しを行った上での採決のやり直しを強く求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○		
8	ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

主な議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第9号は平成26年度の一般会計・各特別会計・公営企業会計の決算の認定、議案第10号〜第11号は平成27年度の各会計の補正予算、議案第12号〜第19号は条例の制定、議案第20号〜第23号は財産の取得、議案第21号は監査委員の選任に関する議案です。...

【議案第10号】平成27年度佐倉市一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ19億3474万3千円を増額するもの。歳入の主なものは、地方交付税、国庫支出金などの増額、繰入金...

【議案第12号】佐倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定
平成25年5月に公布された行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、住民票を有するすべての市民に交付する「通知カード」と、希望者に対して交付する「個人番号カード」の、再交付にかかる費用について、手数料を徴収するもの...

【議案第13号】佐倉市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号をその内容を含む特定個人情報情報について、一般の個人情報よりも厳しい保護措置を図るなどの改正をおこなうもの。

【議案第14号】佐倉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定
同法律の施行に伴い、法定事務以外で個人番号を利用する事務、市の同一執行機関内および異なる執行機関間において情報連携を行う事務等を条例に定めるもの。

【議案第16号】佐倉市立児童センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
志津駅周辺の公共施設を集約した「志津市民プラザ」の開設に伴い、本年11月27日に志津公民館を、また、本年12月1日に志津児童センターを、それぞれ同施設内に移設するもの。

【議案第17号】佐倉市立児童センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
平成28年4月から、志津児童センター児童保育所の名称を上志津児童保育所に改めるとともに、2つの児童保育所を新設、また、3つの児童保育所で定員を増員するもの。

ざくろ

議案第1号から第9号まで、平成26年度佐倉市一般会計、各特別会計及び公営企業会計の決算の認定について
決算審査の過程で、会派として賛成はしたが、一部疑問点が残ったので報告したい。

「主要施策の成果」の説明の中で、過年度から定型化しているものが多く見受けられ、また、評価や比較については、本来客観的な判断を下すためには、数量的な表記がなされるべきところ、定性的な表記が多く、改善を求めたい。...

また、決算審査1日目の会派からの質問では、市長が公用車を使ってデイナーショーに出席したことが判明した。この件については、公務とながらも、その具体的な中身について秘書課は明らかにせず、さらに、公務であるにも関わらず市長が「どこで誰と会い、何をしていたかはお答えできない」と不誠実な答弁を繰り返す始末であった。

2日目の教育委員会への質問で、デイナーショーに同行したという教育長に対して同様の質問をしたところ、歌手名は由紀さおり氏、費用は1人当たり4万3200円など、具体的な内容についての明確な答弁があった。

なぜ担当課によって答弁に差があるのか? 1日目のように公務としながらも、その経緯内容を明らかにせず、十分議会に説明をしない理由はなぜなのか? 強い疑問が残った。市長、教育長が共に公用車でデイナーショーへ行ったことは、公私混同の疑惑を持たれても仕方がないこ

とであり、襟を正すべきである。また、会派からの志津自然園への質問で、新たな事実と疑問が発生した。ほかに、市長決裁による人事採用があり、顧問弁護士との任用では、職員の答弁が二転三転する場面もあった。

長嶋茂雄記念岩名球場の改修費について、当初約8億円と説明を受けていたが、最終的に16億6813万3千円に費用が膨らんでおり、この間の議会への説明が著しく不十分であったことも指摘せざるを得ない。

二元代表制では、ともに住民を代表する首長と議会が、相互のけん制・抑制と均衡により、対等の機関として緊張関係を保ち続けることが求められている。首長に迎合するのではなく、議会がそれぞれの議案に対して、意思表示を明確にするのは当然である。

市長は、議案等に関して議会に説明責任を果たさなければならぬ。今回のように疑問が次々と湧きあがってくるような状態では、市長の説明責任は果たされていないと言わざるを得ない。与えられる情報が不十分であれば、私達が正しい政策立案・監視・議決の機能を果たすことはできない。議会には正しい情報が提出されなければならない。

私達議員が市民の信頼を得るためにも、今後も厳しく対応していかなければならないということとをあらためて痛感した。市民の皆様にご理解をいただきたい。

公明党

議案第1号平成26年度一般会計決算について
全体的に個々の事業予算が小出しで市政運営の消極性を物語っており、中途半端という印象を拭い切れない。限られた予算だからこそ、精査し選択と集中でメリハリをつけるべきではないかという印象を受けた。市の

将来を見据えた上でまちづくりの全体像が示されていない中、個々の事業を正しく評価することができづらいということが、評価基準の曖昧さにつながっている。これは、新年度予算編成作業への申し送りとしていたいただきたい。歳入に關し市税等の未納額が減少傾向にあり、取り組みを評価するが、まだまだ市税、国保税を合わせた未納額全体で40億円を超え、不納欠損処理額も大きい。コンビニ収納を導入し、収納率を上げる効果が出ており、一層の適正な収納に向けて回収努力に期待する。歳出に關し、敬老会事業は、団塊の世代が高齢化していく中で、ボランティア等のマンパワー不足も明らかになってきている。予算も含め敬老事業のあり方について早急に検証し、課題について検討すべきものであると考える。

のぞみ

議案第1号平成26年度佐倉市一般会計歳入歳出決算認定に以下を要望し賛成
①まちづくり協議会事業については、自治会・社会福祉協議会・まちづくり協議会が事業をすみ分けし、事業を充実させることが可能なことから、地域の方が環境を整えるために地区社会福祉協議会も小学校区に合わせる必要がある地域もあります。既存のまちづくり協議会に対して今後事業がさらに発展し続けられる施策を進めること。②納税相談から生活困窮者支援窓口へつなげると同時に市民が納税の実感を持つ行政サービスを執行すること。

③市民音楽ホールの主催事業については、音楽公演のみにこだわらず、演劇公演も充実させ市民や子ども達に幅広い舞台芸術の振興を図ること。④佐倉産農産物のブランド化については、所得向上だけでなく後継者問題の解決と佐倉市のシティーセールスにつながる事業にすること。

市民ネットワーク

議案1号に対する主な反対理由
①志津自然園、長嶋茂雄岩名球場改修など総合計画にない巨額事業が提案され、計画財政の形骸化が著しい。②共通番号は原則生涯不変の国民総背番号制度。情報漏えい、成りすまし被害等懸念され、巨額の税金が投入され続けるITハコモノ事業。③自衛隊での新人研修。④介護保険料の大幅値上がりで滞納者が増加。ペナルティで介護保険が使えないままの死亡例が毎年出ている。⑤ワクチン接種の副反応相談者は3年間で47人。死亡例で被害調査委員会が開催された。ワクチンは決して安全ではない。子宮頸がんワクチン被害は接種後1年経ってから出ている。接種者の健康追跡調査が必要。⑥プレミアム商品券の効果は疑問。⑦ハツタダムの完成で水道料金は2割アップし、地下水割合が減ってまざる。...

日本共産党

マイナンバー制度の実施に關する予算執行と条例改正に反対
国民の理解も不十分で、情報漏えいを防ぐ確実な方法の無い危険な制度は中止すべき。
「安全保障関連法案」を参議院で徹底審議し廃案にすることを求める意見書提出を求める請願に賛成
民主主義・立憲主義・平和主義を否定した憲法違反の戦争法案を守るかのような詭弁と不誠実な答弁を繰り返し、国民の納得

会派に属さない議員

議席5番
議案第10号、市管理街灯約3600カ所のLED化事業のため、平成27年、28年度にわたる補正予算があり、初期投資額は大きな金額になるが、寿命が長く、電気代も節約され、さらに明るくなれば、犯罪抑止にもつながるので賛成します。

議席7番
決算認定・補正予算に賛成
決算審査特別委員会で、執行部から議会への説明不十分と思われる予算執行があるが、佐倉市の発展のために執行された予算と判断し賛成した。今後、議会・執行部のコミュニケーションの構築が必要と考える。

議席19番
職員給与が年額2.2億円も国基準より高い、職員採用事務の不適正、公私混同の会計等の理由で一般会計決算に反対する。小型動力ポンプ付積載車の落札率は98.6%と高すぎる。児童保育は、過密にならないように最大の注意を払うこと。

議席20番
26年度決算認定に次の理由で反対
①マイナンバー制度の情報漏れが危惧される。②おいしい地下水を永久に飲料するため八ッ場ダムは中止すべき。③奨学金制度の成績要件の中止を。④高齢者福祉施設の特待者が730人もいて、早急な改善を求む。

※議席番号と議員名の確認は4ページの見解を一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案
◎…委員長、○…副委員長

総務常任委員会

開催日：平成27年9月7日／場所：第四委員会室

《審査結果》

議案10	議案12	議案13	議案14	議案15	議案20
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案22	議案23	請願4			
可決	可決	不採択			

議案8件、請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

マイナンバー制度に伴い、10月から個人番号カード等の交付事務が始まるが、個人情報の取り扱いには十分注意し、慎重に対応していただきたい。

(仮称)千代田ふれあいセンター改修工事費については、屋根及び空調設備の改修、建築資材及び労務単価の上昇等により、当初の概算見込み額よりも大きく増額して要求されている。しかし、雨漏りによる屋根の改修及び空調設備の不具合による改修の必要性については、事前に把握できたものであると思われる。今後は慎重に対応していただきたい。

〔委員〕 ◎櫻井道明、○小須田稔、橋岡協美、伊藤壽子、村田穰史、藤崎良次、押尾豊幸

文教福祉常任委員会

開催日：平成27年9月8日／場所：第三委員会室

《審査結果》

議案10	議案11	議案16	議案17	議案18	議案19
可決	可決	可決	可決	可決	可決
請願5					
不採択					

議案6件、請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

学童保育所の整備、運営に当たっては、子供たちにきめ細やかな保育を提供できるよう、今後とも環境整備に十分配慮していただきたい。

〔委員〕 ◎川名部実、○平野裕子、木崎俊行、敷根文裕、望月庄子、五十嵐智美、森野正

経済環境常任委員会

開催日：平成27年9月9日／場所：第二委員会室

付託された議案はありません。

〔委員〕 ◎中村孝治、○高木大輔、徳永由美子、萩原陽子、石渡康郎、冨塚忠雄、岡村芳樹

建設常任委員会

開催日：平成27年9月10日／場所：第一委員会室

《審査結果》

議案10
可決

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

今後に向けて検討がなされている、自治会が管理している街灯のLED化や市への移管においては、各自治会の状況を把握するとともに、それぞれのご意見を十分に聞いたうえで、市からも積極的なアプローチを心がけ、円滑に進めていただくよう努められたい。

〔委員〕 ◎清宮誠、○爲田浩、斎藤明美、山本英司、久野妙子、大野博美、山口文明

佐倉市議会のホームページも ご覧ください

佐倉市のホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> から

→ 佐倉市議会

↑ をクリック



●会議録が検索できます!

平成元年以降の市議会の本会議会議録の内容を検索することができます。

●インターネット中継を見ることができます!

本会議の様様を、開催時間中にライブ中継で見ることができるほか、開催日からおおむね1週間後以降には録画中継として見ることができます。

11月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆議会運営委員会 11月24日(火)
- ◆招集日 11月30日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 12月 7日(月)～10日(木)
- ◆常任委員会 12月14日(月)～17日(木)
- ◆最終日 12月21日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。 議会事務局 ☎484-6279

□インターネット中継:本会議(招集日、一般質問、最終日)の様様を開催時間中にライブ中継するほか、会議のおおむね1週間後から録画中継を配信。

□CATV議会放映:本会議の様様を開催日の翌日午後5時30分放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

議会百景

議会意見交換会を開催します。それぞれの視点からの意見、提案が交わされることは重要です。環境と経済の調和を図った事業実施に向けて調査、準備をして慎重に検討していきます。議員活動スタートから半年。初心を忘れず、地域の和を広げ、多くの人の心がつながり、障害のある方もない方も暮らしやすい佐倉市へと前進させてまいります。

(広報公聴委員 斎藤明美)

議員になって5カ月が過ぎた。「良くやっている」という声よりも「期待外れだった」という声の方が多く、頑張っている。言い訳は厳禁。満足したら墮落。

知力、体力、何より市民生活に対する想像力が足りない。議会基本条例の施行からもう5年。私も佐倉市議会を構成する一人の議員である、さらなるご鞭撻を。

(広報公聴委員 木崎俊行)

佐倉市のこれから先10年を考えるにあたり限りある財政の中で佐倉市の目指すゴールはどこなのか?ということを皆様に具体的なビジョンで示す必要がある。若者転出数の多さを見ても同世代に佐倉市の政策が響いているとは言い難い。活力ある佐倉市を目指すために各世代への広報のあり方についても皆さまと一緒に取り組み上げていきます。

(広報公聴委員 敷根文裕)